

迫力の闘牛シーン

力強い演技が観客を圧倒した迫力の闘牛シーン。本物の闘牛さながらのスピード感ある立ち回りが繰り広げられました



第7回市民おらほーる劇場

市民の熱演 惜しみない拍手

11月24日、第7回久慈市民おらほーる劇場「闘牛王の憂鬱」がおらほーるで上演。昼・夜の部合わせて約450人が鑑賞しました。

作品の題材は闘牛。派手な演出で観光客の倍増を計画する観光振興協議会のメンバーと、地域のために闘牛に取り組む牛主、人間の利害に踊らされ、自分の一生を問う牛たちの交錯する思いが描かれています。

公演中は、観客も演出に合わせて足踏みをしたりペンライトを振り、舞台と客席が一体となった演劇となりました。

公演を終え、達成感に満ちた表情で舞台に立つ出演者に、客席からは惜しみない拍手が送られました。



上/小学生ものびのびとした演技を披露中/息の合った歌と踊りを披露し、舞台を沸かせたモーレッツ@MUSUME
下/牛ごとに違う隈取りで迫力を表現



大向 積さん
(新中の橋)

3年ぶり達成感

3年ぶりの出演。二役で、声や雰囲気など役作りに苦労しました。今は達成感でいっぱいです。

INTERVIEW

みんなが一つに

南部闘牛がめっちゃくちゃになったけれど、最後にはみんなが一つになって感動しました。



吹上 雄琉くん
(久慈小3年)



編集後記

▶フィンランドのサンタクロースに感激！抱きついてた園児たちがちょっぴりうらやましかったです。▶ふるさとCM大賞では、昨年の大賞に続いて金賞を受賞。微力ですが、久慈市の魅力発信に貢献できたかなと安心しています。▶あまちゃんで盛り上がったように、今年も明るい話題がいっぱいの一年になるといいですね。(水上)
▶新春座談会にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。取材しながら、平成25年が明るい話題に満ちた年だったことをあらためて実感しました。▶みちのく潮風トレイルも八戸-久慈間が開通し、今年はいつも以上に歩く年になる予感。しっかりと足腰を鍛え、体力勝負で負けないように頑張ります。(広崎)



泥濘 紫音 くん(1歳) 怜美 ちゃん(3歳)
小向有さん、るり子さんの孫 (夏井町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。

